

東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

*School of Health Care Sciences, Faculty of Medicine,
Tokyo Medical and Dental University*



看護学専攻
Nursing Science



検査技術学専攻
Medical Technology

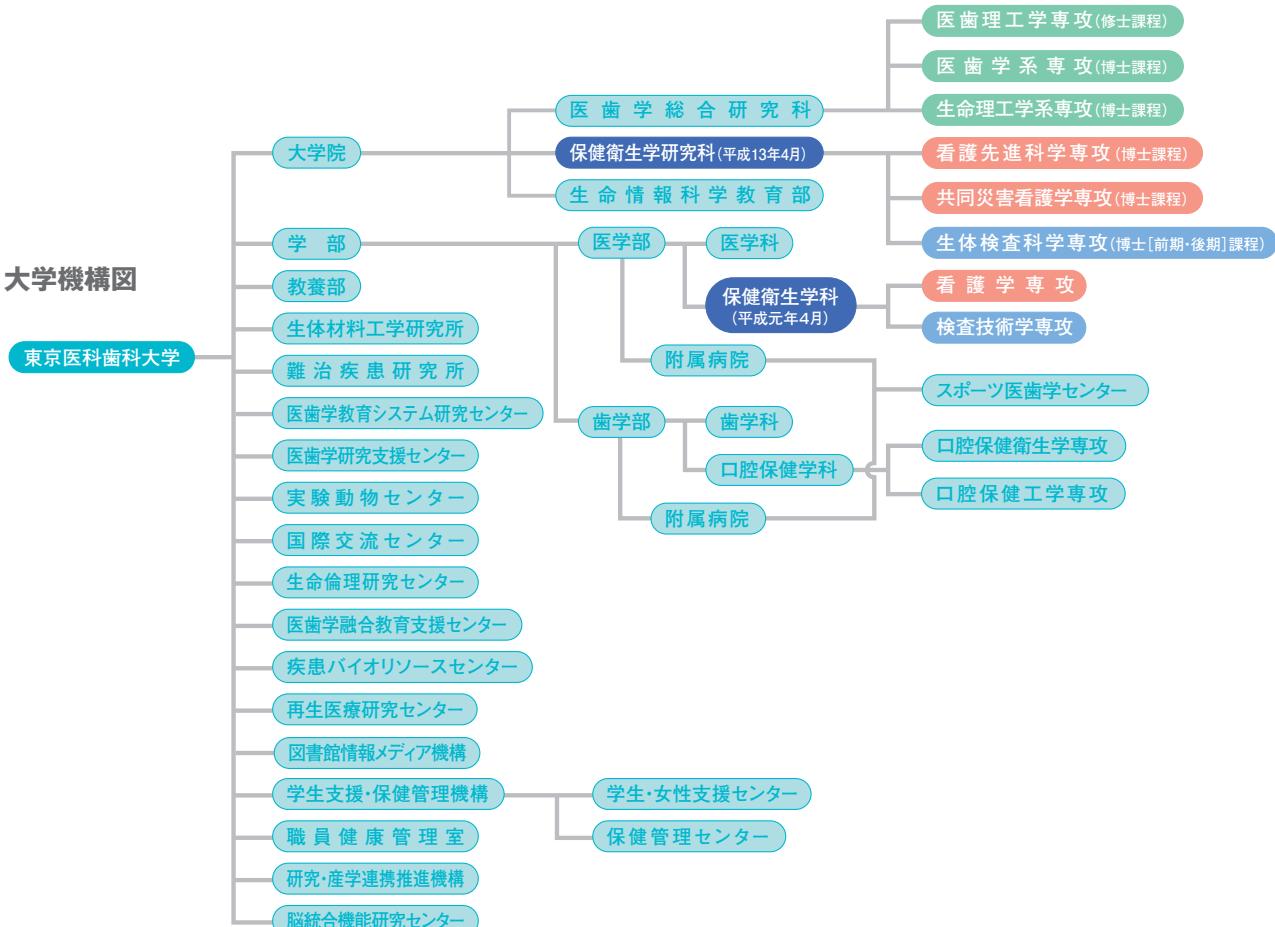




東京医科歯科大学の教育理念

- 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養
- 自己問題提起・自己問題解決型の創造的人間の養成
- 国際性豊かな医療人の養成

大学機構図



医療チームの看護師・保健師・臨床検査技師としての トップを目指す教育体制

保健衛生学科の教育理念

本学科は豊かな教養と高い倫理観に裏付けられた医療人としての感性を有し、自ら学び研究し、創意工夫することができる人間の形成を目指します。その視点に立ち看護学、検査技術学の2つの領域において、それぞれの専門的領域の知識、技術を教授することにとどまらず、学際的視野に立ち自ら問題を提起し、これを解決する能力を備えた医療人を養成します。



あゆみ

- ・学科の創立は平成元年ですから、まだ25年しかたっておりませんが、国立大学で初めての4年制の保健衛生学科として誕生しました。
- ・大学院は平成5年4月に博士（前期）課程、平成7年4月に博士（後期）課程が設置され、国際的に通用する本格的な教育者・研究者及び高度な専門職業人の養成を行っています。なお、平成13年度から大学院は部局化（重点化）され、保健衛生学科の教育研究組織は新しい大学院大学（保健衛生学研究科）に移行しました。部局化（重点化）された大学院と学部との有機的な連携のもとに、大学院の教員が保健衛生学科の教育を行っています。21世紀を迎える平成16年4月には医療学総合研究棟（現、3号館）が完成し、本学科も新棟に移転し、教育研究体制も益々充実してきました。そして、平成26年4月より、総合保健看護学専攻は5年一貫制博士課程「看護先進科学専攻」へと改組しました。また同じく平成26年4月より、国内初である国公私立の共同教育課程である5年一貫制博士課程「共同災害看護学専攻」を設置しました。本研究科は生体検査科学専攻と合わせて3専攻となりました。

平成元年4月 東京医科歯科大学医学部保健衛生学科（看護学専攻・検査技術学専攻）設置（平成22年度募集定員：下記参照）

平成3年3月 医学部附属看護学校及び医学部附属臨床検査技師学校の閉校

平成5年4月 東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻（修士課程）設置（募集定員：看護学領域14名、検査学領域10名）

平成7年4月 東京医科歯科大学大学院医学系研究科保健衛生学専攻博士（後期）課程設置（募集定員：看護学領域5名、検査学領域4名）

平成13年4月 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科2専攻設置 総合保健看護学専攻、生体検査科学専攻
博士（前期）課程募集定員：総合保健看護学専攻17名、生体検査科学専攻12名

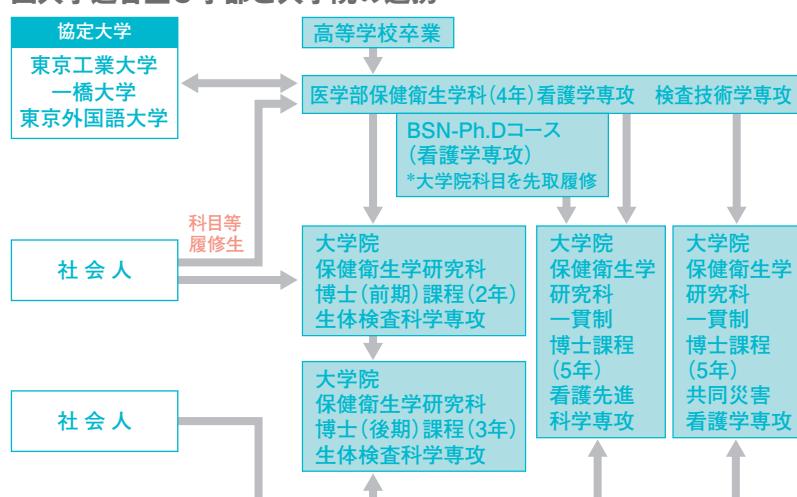
博士（後期）課程募集定員：総合保健看護学専攻8名、生体検査科学専攻6名

平成26年4月 大学院保健衛生学研究科 総合保健看護学専攻を看護先進科学専攻に改組
大学院保健衛生学研究科 共同災害看護学専攻を設置
(5年一貫制博士課程募集定員：看護先進科学専攻 13名、共同災害看護学専攻 2名)

学部募集定員

	看護学専攻	検査技術学専攻
修業年限	4	4
募集定員	55	35
内訳	前期日程	35
	後期日程	—
特別選抜推薦入学	20	5

四大学連合並び学部と大学院の連携



海外研修・留学支援

豊かな感性と国際性を兼ね備えた医療人育成の一環として、全学生を対象とする海外研修奨励制度の活用やその他の留学支援などにより、学生に海外研修の機会を提供しています。これまで米国、英国等の英語圏のほかに、アジアや北欧諸国などで多くの学生が貴重な経験を積んできました。特に海外提携大学であるフィンランドのSeinajoki University of Applied Sciencesでは、本学の学生のために保健医療に関する講義などのほか、保健医療機関での学習や、異文化体験も含めた充実したプログラムを提供しています。また、グローバルヘルスリーダー育成のためにGlobal Health Science programを新設しました。



フィンランドのセイナヨキ応用科学大学で学習している学生



ラオス農村部での母子保健教育を見学している検査技術学専攻学生

専門分野の第一線で活躍する教員による指導

看護先進科学専攻	講座	領域	教育研究分野
	基盤看護開発学	看護ケア技術開発学	教授 斎藤 やよい
		ヘルスプロモーション看護学	教授 佐々木 明子
		地域保健看護学	准教授 森田 久美子
	臨床看護開発学	先端侵襲緩和ケア看護学	教授 井上 智子
		精神・人間発達看護学	教授 田上 美千佳
		小児・家族発達看護学	教授 廣瀬 たい子
		リプロダクティブヘルス看護学	教授 大久保 功子
		在宅がんエンドオブライフケア看護学	教授 本田 彰子
	先導的看護システム開発学	在宅ケア看護学	准教授 山崎 智子
		がんエンドオブライフケア看護学	教授 丸 光恵
		国際的看護システム開発学	教授 深堀 浩樹
		看護システムマネジメント学	教授 緒方 泰子
		高齢社会看護ケア開発学	教授 佐々木 吉子

共同災害看護学専攻		
講座	領域	教育研究分野
生体検査科学専攻	生命情報解析開発学	分子生命情報解析学
		教授 赤澤 智宏
		形態・生体情報解析学
		教授 星 治
	分子・遺伝子応用検査学	生命機能情報解析学
		教授 角 勇樹
		生体機能支援システム学
		教授 伊藤 南
		先端分析検査学
		教授 戸塚 実
		生体防御検査学
		教授 齊田 哲朗
		分子病態検査学
		教授 沢辺 元司
		先端血液検査学
		准教授 小山 高敏
		先端生体分子分析学
		准教授 笠間 健嗣

看護学専攻の特徴

高度先進化する科学技術の基礎的理解力をもち、少子高齢社会における保健医療・福祉等のさまざまな職種と連携して、看護専門職としての役割を果たす人間性豊かな人材を育成することにあります。

検査技術学専攻の特徴

先端医療技術の進展に対応しうる学際的視野と研究能力を有する資質の高い人材及び医学・保健医療における検査技術の発展とその教育・指導に従事する人材を育成することにあります。

教育内容

教養部における全学共通科目の履修を経て、看護学専攻あるいは検査技術学専攻専門科目を履修します。

看護学専攻では、専門基礎分野、専門共通分野の科目を通して看護学領域における基礎知識を修得した後、基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、在宅看護学などについてそれぞれ講義と臨地実習による教育を受けます。

検査技術学専攻では、形態・病態制御学系、物質・代謝学系、機能調節・制御学系、病因・病態学系、検査管理・社会医学系、総合分野などの各科目について講義と実習による教育を受けます。4年次には卒業研究と臨地実習があります。健康食品管理士受験資格取得のための「健康食品総論」を開講しています。

卒業すると取得できる学位・資格

看護学専攻	学位：学士（看護学）
	資格：看護師国家試験受験資格
	保健師国家試験受験資格
	[保健師免許取得者： 養護教諭免許（二種）]
検査技術学専攻	学位：学士（保健学）
	資格：臨床検査技師国家試験受験資格
	健康食品管理士受験資格



教養教育・専門科目教育の連携

1年次

教養部国府台のキャンパス（千葉県市川市）で医学科、歯学科及び口腔保健学科の学生と共に学び、将来、チーム医療に携わることを自覚します。また、教養教育と学部専門教育の連携を図るため、1年次は、前期一部日程と後期週1日火曜日は湯島地区で学びます。

教養部の教育理念

リベラル・アーツの重視

教育理念 教養部では次の4つの力を獲得させることを教育の理念として掲げています。

- 1) 市民社会の一員として、自己と他者を理解するための幅広い教養と感性
- 2) 科学的に考え、理解し、自ら問題を見つけ継続して学ぶ力
- 3) 国際的な医療人として活躍するために必要なコミュニケーションの能力
- 4) 専門教育に必要な基礎学力や思考力、技術

カリキュラムの基本方針

リベラル・アーツの一層の充実 リベラル・アーツと連携教育の内容の明確化

・前期原則週5日、後期週4日：

リベラル・アーツ科目 担当：教養部教員 実施場所：国府台地区

・前期一部日程、後期週1日：

連携教育科目 担当：教養部教員 実施場所：湯島地区 内容：医療人間学概論・医療人間学セミナー

学部専門科目 担当：学部教員 実施場所：湯島地区 内容：先端医療技術論・解剖学・基礎看護学 etc.

①2学期制の採用：前期15週／後期15週

②教養総合講座の導入：1グループ15人程度

③人文社会科学系科目の更なる充実

④専攻に応じた自然科学系基礎科目の充実

⑤英語教育の充実：1年間を通して週2コマ必修

科目概要

自然科学系科目

● 専攻ごとに、専門課程の基礎となる自然科学系科目を重点的に学びます。

看護学専攻：生物学入門、化学基礎、生物学基礎、統計学、情報科学、科学基礎実験 or 科学基礎演習

検査技術学専攻：物理学入門 or 化学入門 or 生物学入門、

数学基礎・統計学・物理学・化学・生物学・情報科学、科学基礎実験

英語科目

● 1年間にわたって30週、週2コマ必修

必修4単位（入学時のTOEFL成績による6段階の能力別編成）

英語a・英語c：オーラルコミュニケーション・ディスカッション

英語b・英語d：リーディング・ライティング

連携教育科目

● 必修科目として、幅広い医療人としての素養を養います。

医療人間学概論・医療人間学概論（倫理学）*看護学専攻対象

・ ク (法学)

・ 医療人間学セミナー(I)(II)(法学)*看護学専攻対象

・ ク セミナー(I)(II)(倫理学)*看護学専攻対象

学部専門科目 連携教育科目開講日に同時開講

● 1年次には以下の科目を学習します。

看護学専攻：「解剖学I」、「基礎看護学I」、「看護心理学」、「看護の統合と実践I」、「基礎看護学実習I」

検査技術学専攻：「人体構造学講義(I)」、「先端医療技術論」

専攻別カリキュラム



看護学専攻 カリキュラム

Nursing Science

取得単位数

全学共通科目	29単位
専門科目	95単位
卒業単位計	124単位

	専門基礎分野	専門共通分野	専門領域別分野
1年次	解剖学Ⅰ		基礎看護学Ⅰ、看護心理学、 看護の統合と実践Ⅰ、基礎看護学実習Ⅰ
2年次	解剖学Ⅱ、生理学、 生化学、薬理学Ⅰ・Ⅱ、 病理学、微生物学、 栄養学、病態学、 英文講読Ⅰ、 専門基礎合同演習 TOEFL/ITP	医療情報学、 保健医療福祉制度論 実践看護英語 国際保健福祉	基礎看護学Ⅱ、基礎看護学Ⅲ、 基礎看護学演習Ⅰ、基礎看護学演習Ⅱ、 基礎看護学実習Ⅱ、 成人看護学Ⅰ、成人看護学Ⅱ、 精神看護学、小児看護学Ⅰ、 小児看護学演習Ⅰ、在宅看護学Ⅰ
3年次	疫学、英文講読Ⅱ TOEFL/ITP	卒業論文Ⅰ 実践看護英語 国際保健福祉	成人看護学Ⅲ、成人看護学演習、 成人看護学実習、地域精神看護学、 精神看護学演習、精神看護学実習、 小児看護学Ⅱ、小児看護学演習Ⅱ、 小児看護学実習、 母性看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、 母性看護学演習、母性看護学実習、 老年看護学、老年看護学演習、 リハビリテーション看護学、 老年看護学実習、地域保健看護学Ⅰ、 地域保健看護学Ⅱ、在宅看護学Ⅱ、 在宅看護学演習、在宅看護学実習
4年次	英文講読Ⅲ	保健統計学、 国際保健看護学、産業保健学、 健康教育学演習、 卒業論文Ⅱ 国際保健福祉	看護の統合と実践Ⅱ、 看護の統合と実践実習Ⅰ、 看護の統合と実践実習Ⅱ、 緩和ケア看護学、地域保健看護学Ⅲ、 地域保健看護学演習、地域保健看護学実習



成人看護学演習（手術患者・重症者への援助技術）



基礎看護学演習（薬物療法と看護）



検査技術学専攻 カリキュラム

Medical Technology

取得単位数

全学共通科目	32単位
専門科目	必修科目 97単位 選択必修科目 6単位
	卒業単位計 135単位

1年次	人体構造学講義（I）、先端医療技術論
2年次	人体構造学講義（II）、人体構造学実習、病理検査学講義、 病理検査学実習、生化学講義、生化学実習、分析化学検査学講義（I）、 医用システム情報学講義（I）、医用システム情報学実習（I）、 生理検査学講義（I）、生理検査学実習（I）、病原体検査学講義（I）、 病原体検査学実習（I）、遺伝子・染色体検査学講義、 検査管理学、医学情報処理演習（I）、公衆衛生学講義、 公衆衛生学実習、医療概論・関係法規、臨床病態学（I）、 Global Communication（I）、TOEFL/ITP
3年次	血液検査学講義、血液検査学実習、分析化学検査学講義（II）、 分析化学検査学実習、医用システム情報学講義（II）、 医用システム情報学実習（II）、生理検査学講義（II）、 生理検査学実習（II）、病原体検査学講義（II）、 病原体検査学実習（II）免疫検査学講義、 免疫検査学実習、遺伝子検査学実習、Global Communication（II） TOEFL/ITP
4年次	医学情報処理演習（II）、臨床病態学（II）、総合講義、臨地実習、 卒業研究



病原体検査学実習（II）

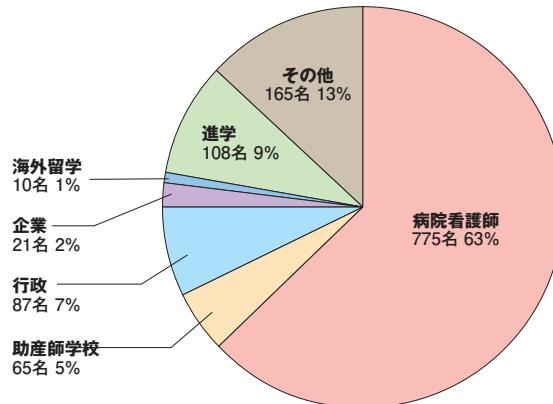


人体構造学実習

卒業後の進路

看護学専攻 (平成26年5月1日現在)

学部 1,231名



看護学専攻 主な就職先

病院関係 (看護師)

東京医科歯科大学医学部・歯学部附属病院
東京大学医学部附属病院
千葉大学附属病院
慶應義塾大学病院
順天堂大学附属病院
聖路加国際病院
九段坂病院
虎の門病院
日本大学附属病院
日本医科大学附属病院
東京慈恵医科大学病院
国立国際医療研究センター
東京都立病院
東京都立小児総合医療センター
癌研有明病院
杏林大学病院
昭和大学病院
榎原記念病院
井之頭病院
三宿病院
三井記念病院
国立成育医療センター
神奈川県立こども医療センター
横浜市立大学附属市民総合医療センター
国際医療福祉大学附属三田病院
横浜市立病院

国立がんセンター病院(中央病院・東病院)
亀田メイカルセンター
新東京病院
千葉西総合病院
賛育会病院
東京ベイ浦安市川医療センター
埼玉県立病院
茨城県立こども病院
静岡県がんセンター
名古屋大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院
京都大学医学部附属病院

大学関係等

東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
首都大学東京健康福祉学部
日本赤十字看護大学
慶應義塾大学看護医療学部
東京慈恵会医科大学医学部看護学科
東京大学先端科学技術研究センター
千葉県立保健医療大学
埼玉県立保健医療福祉学部
群馬大学医学部保健学科
自治医科大学看護学部
愛知県立看護大学
大阪府立大学看護学部
神戸大学医学部保健学科
東京デザイナー学院
厚生労働省
日本看護協会

企業関係 (保健師)

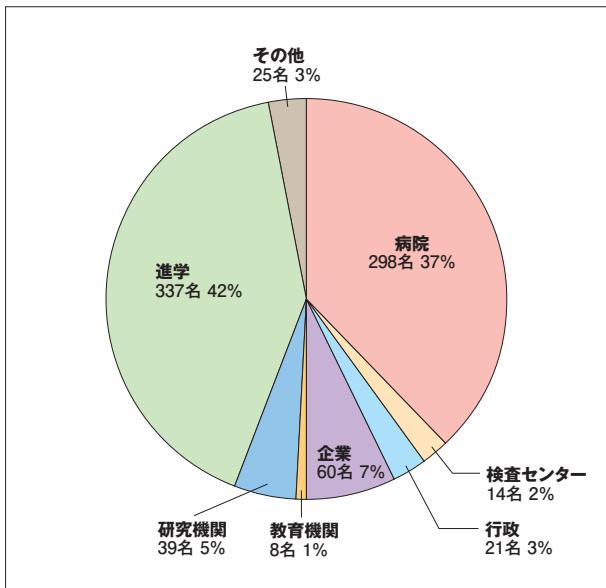
NTT健康管理センター
みずほ銀行健康管理センター
三菱東京 UFJ 銀行健康管理センター
日本航空健康組合
東京海上日動メイカルサービス
ジャパンケアサービス
セコム医療システム
日新火災海上保険
日本電気(NEC)健康管理センター
沖電気
日立製作所
HOYA

地域・在宅関係

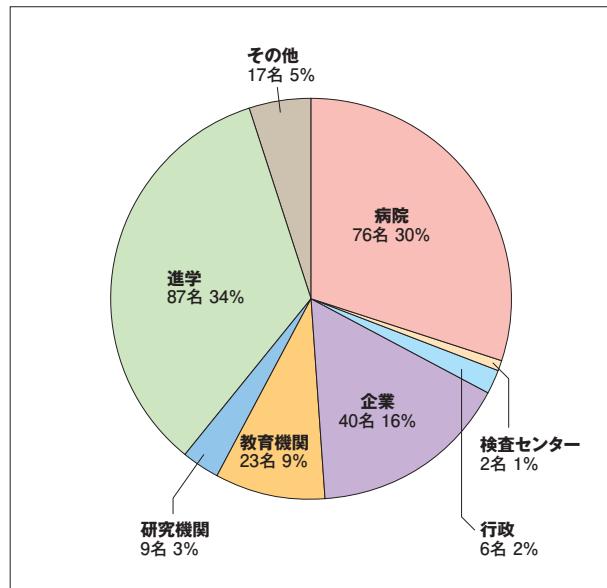
保健所
市区町村
訪問看護事業所
小中高等学校(養護教諭)

検査技術学専攻 (平成26年5月1日現在)

学部 802名



修士 260名



検査技術学専攻 主な就職先

病院関係

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部・輸血部・臨床試験管理センター	東京大学医学部附属病院検査部・輸血部
千葉大学医学部附属病院検査部	九州大学医学部附属病院検査部
北海道大学医学部附属病院検査部	自治医科大学附属病院臨床検査部
東京女子医科大学病院	防衛医科大学校病院検査部
帝京大学医学部附属病院中央検査部	順天堂大学附属病院
東京都立病院検査部	川崎市立川崎病院
横浜市みなと赤十字病院	松江赤十字病院
三井記念病院	聖路加国際病院
九段坂病院	心臓血管研究所
横須賀共済病院	自衛隊中央病院
木場公園クリニック(エンブリオロジスト)	山王病院
心臓画像クリニック飯田橋	総合病院国保中央病院
東邦大学医療センター大森病院	

研究所

理化学研究所	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
国立精神・神経センター	東京大学新領域創生科学科	岡山大学医学部保健学科
東京都立衛生研究所	山口大学医学部保健学科	群馬大学医学部保健学科
国立スポーツ科学センター	神戸大学医学部保健学科	大阪大学大学院医学系研究科
神奈川県衛生研究所	九州大学医学部保健学科	東北大学医学部保健学科
国立がんセンター	日本医科大学	京都大学医学部保健学科
東京都健康安全研究センター	埼玉県立大学	熊本大学医学部保健学科
国立成育医療センター研究所		茨城県立医療大学
癌研究会		埼玉医科大学
国際医療センター		がん研有明病院 細胞検査養成所
癌研究所ゲノムセンター		岡山大学医学部
警視庁科学捜査研究所		
川口市立医療センター		

企業関係

和光純薬工業	テルモ	秀潤社	カネボウ	医学書院
住友化学	武田薬品工業	フジテレビ	バイエルメディカル	グラクソ・スミスクライン
東芝メディカル	日本アイ・ビー・エム	大塚製薬	シェーリング・プラウ	羊土社
関東化学	ブリストル・マイヤーズスクイブ	イーピーエス	クリニプロ	ジャル エクスプレス
帝人在宅医療東京	JFEシステムズ	シノテスト	富山薬品工業	シミック
三菱化学メディエンス	積水メディカル	KISCO		

卒業生紹介

看護学専攻 卒業生

同窓会会長 江龍 伸子さん

第2回生

東芝ヒューマンアセットサービス(株)
保健支援事業部 保健師

同窓会では、講演会や会誌の発行を通じて、卒業生同志や在校生と卒業生を繋ぐ活動をしています。私たちの卒業生は、附属病院や本学を始め様々な領域で活躍しています。お互いに情報交換や刺激を与え合う事で向上していきましょう。



森田 久美子さん

第3回生

本学大学院保健衛生学研究科 准教授

大学卒業後、大学院修士・博士課程を修了し、本学には計9年間、学生としてお世話になりました。現在は健康教育学の教員として、この頃は学生さんとの年齢差を感じつつも気分は若く、時には自分の学生時代を思い出しながら指導にあたっています。仕事と育児の両立はなかなか大変ですが、皆さんからパワーをもらっています。



今津 陽子さん

第13回生

本学大学院保健衛生学研究科 博士（後期）課程2年

大学卒業後、大学病院で勤務し、大学院に進学しました。大学院では、臨床で得た経験や疑問を様々な理論や文献を使って、新たな学びを得る毎日を過ごしています。先生方の講義やプレゼンテーション形式の授業、様々な臨床経験を持つ院生同士のディスカッションは看護師としての視野を広げてくれます。とても忙しいですが、深く学ぶ喜びを感じています。



習田 由美子さん

第1回生

厚生労働省 医政局看護課

私の携わっている仕事はすべての看護職が誇りをもってより質の高い看護が提供できるように臨地の経験を踏まえて行政側からシステムを整えることです。
看護だけではなく、国民生活の中の医療・看護のあり方を時代の中で考え、現場に発信していくことが大きな役割だと思っております。



半田 美織さん

第7回生

保健センター
保健師

赤ちゃんから大人まで、全ての人が、笑顔と安心にあふれた健康な生活を楽しめるよう、相談や家庭訪問、健診などを行い、さらに健康なまちづくりまでを考え、住民の方々の体と心の健康のマネジメントをしています。



染谷 彰さん

第15回生

本学医学部附属病院 看護師

大学卒業後、本学附属病院という医療の最先端の現場で働くことに不安もありましたが、実践に即した看護技術の練習、実際の看護場面を想定し考えながら看護を実践できるような研修制度があり、自己の看護を高めることができます。患者さんからのありがとうの一言や患者さんが軽快な姿を糧に毎日忙しいながら看護師として充実した生活を送っています。



**検査技術学専攻
卒業生**

奥宮 敏可さん

第2回生

**熊本大学大学院生命科学研究所
教授**

約10年間の病院勤務の後、3年次編入しました。学部3年生の時から研究室に出入りし、「遺伝性代謝病」に関する研究を始めました。学部卒業後も大学院へ進学して研究を継続しました。その後、高知大学医学部医学科助手、熊本大学医学部保健学科助教授（准教授）、オランダ王国Erasmus大学の客員研究員を経て平成24年4月に現職となりました。現在は、大学院生と共にオランダをはじめとして国内外の多くの施設と共同研究を進めています。



同窓会副会長 長 雄一郎さん

第5回生

**本学大学院保健衛生学研究所
助教**

大学卒業後、大学院修士・博士課程に進みました。現在は生体検査科学専攻の教員として、解剖学や生理学などを担当しています。また各種顕微鏡技術を応用し、自律神経再建再生や細胞微細構造の研究をしています。検査同窓会と本学平成卒業生会では副会長として、会員と本学の発展のためやりがいと愛校心をもち努めています。



額 千裕さん

第20回生

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

病院で臨床検査技師として患者さんの血液検査等を行う傍ら、学会発表、研究もできる環境で働いています。検査では様々な症例や異常な反応を示す検体に遭遇します。そこから何かしらの気づきを得て研究に繋げていく事が求められます。大学では資格のための勉強だけでなく、実習や研究を通じ論理的に考える力がつきました。今後は先生方の様に、社会人大学院生になることも視野に入れ日々研鑽したいと思います。

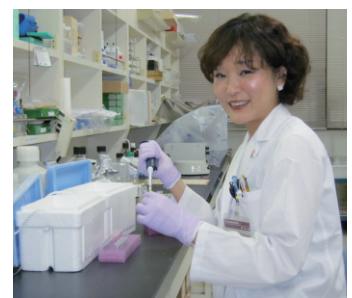


柴倉 美砂子さん

第4回生

**岡山大学大学院保健学研究所
准教授**

教員として血液検査学の教育・研究に従事しています。医科歯科・修士での研究で、「人参の栄養成分ビタミンA誘導体レチノイン酸が白血病細胞に影響を与える」と知った感動が、今の研究活動にも結びついています。最近では、アロマセラピーに用いられる精油や、健康食品の機能性成分が免疫反応に与える影響の研究に着手しています。



市村 直也さん

第12回生

東京医科歯科大学医学部附属病院検査部

わたしは病院で検査の仕事をしながら、大学院で研究を行っています。仕事や研究の課題について、さまざまな分野の専門家が惜しみなく協力してくれています。東京医科歯科大学には、みなさんが課題を見つけ解決していくプロセスをサポートしてくれる環境があります。本学での経験を通して、将来活躍できる人材になれることを願っています。



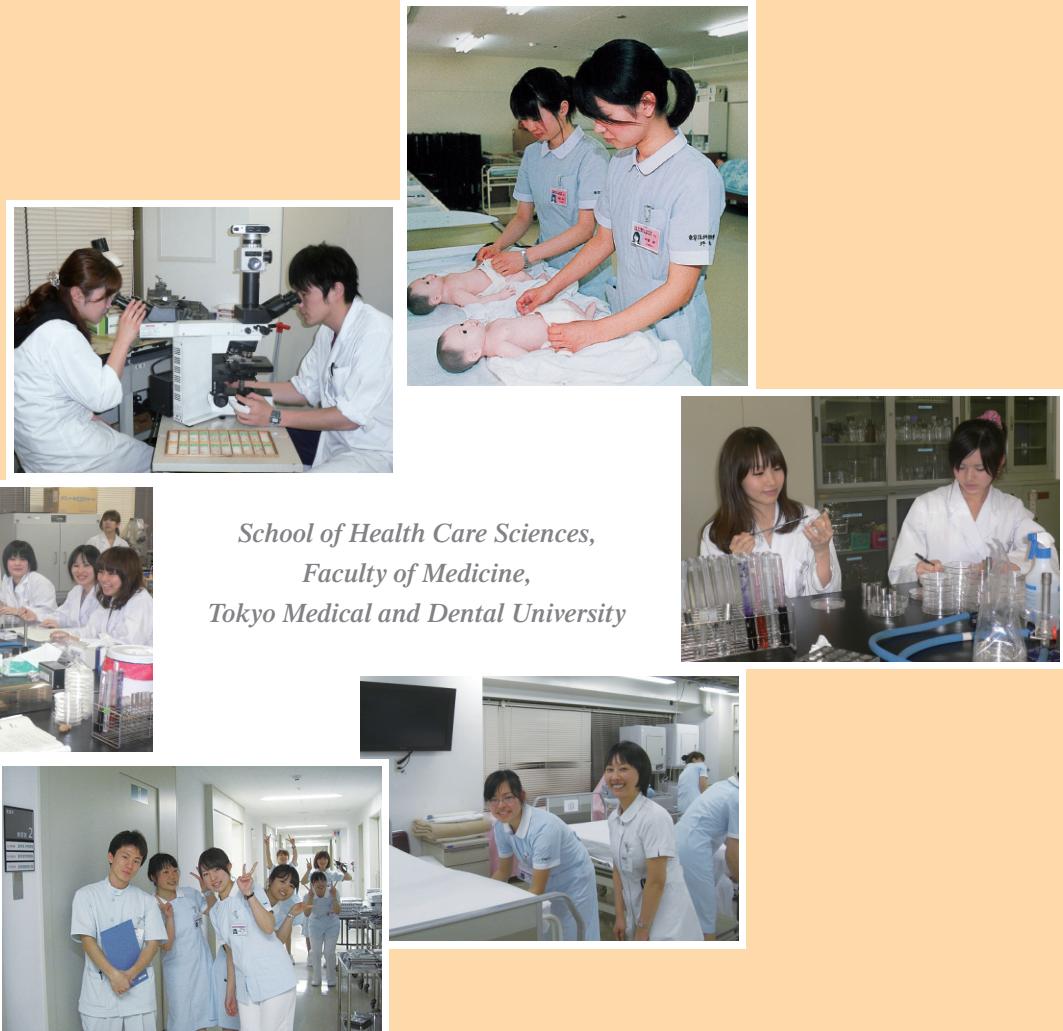
田口 翔子さん

第20回生

**東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究所
大学院生（博士前期）**

私は卒業後、現在本学博士前期課程に進学し、骨髄幹細胞に関する研究を行っています。周りの方々から刺激を受けながら研究し、とても充実している毎日です。最近は臨床検査技師の中でも大学院の進学者が増加し、病院や研究所など活躍の場が広がっています。私も、本学で学んだ臨床検査の知識を基盤に、最先端医療を支える一員となろうと日々研究をがんばっています。





東京医科歯科大学医学部保健衛生学科

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
 ホームページ <http://www.tmd.ac.jp/>
 医学部 保健衛生教務掛 TEL 03-5803-5119